

英語科学習指導案

Date : Friday, May 27, 2011 (2nd period)
Class : 2-4 (20 boys, 20 girls) 40 students
Instructor : Masanori Irie

1 Text: NEW HORIZON English Course 2, Unit 2 Emi Goes Abroad

2 Lesson Survey

本課は、絵美がゴールデンウィークにイースター島へ旅行に行くという内容である。ゴールデンウィークの予定に関するグリーン先生と生徒との対話、空港での入国審査における絵美と係員との対話、イースター島やモアイの歴史についてのナレーションという内容によって構成されている。言語材料としては、be going to の形を用いた未来表現や〔主語＋動詞＋間接目的語＋直接目的語（名詞）〕、〔主語＋動詞＋目的語＋補語（名詞）〕、また、物の大きさや重さを説明したり、時間の流れにそって物事の歴史等を説明したりするための表現などが扱われている。このような言語材料等をもとに、身の回りの観光地について紹介したり、また、それをもとに対話をしたりすることが可能である。これらのことにより、本課は、自分の紹介したい観光地について友人やALTに紹介したり、対話をしたりすることで、日本のことを伝えたい、外国のことを知りたいというコミュニケーションへの意欲をかき立てる題材であると考えられる。

このような題材の特性を活かし、生徒が自分の紹介したい鹿児島県の観光地についてALTや身近な外国人の人に紹介できるような授業を展開したい。そのために、まず、教科書本文の内容を中心に、small tasks を通して観光地の紹介をするための言語材料等を理解させる。その後、middle task を通して、large task を解決するために必要な言語材料等を自分なりに工夫して活用するための言語活動を行わせる。その上で、large task として、生徒が自分の紹介したい観光地を友人やALTに紹介したり、対話したりできるような活動を設定する。

具体的には、本課においては「書くこと」から「話すこと」に重点を置き、「鹿児島県の観光地紹介のナレーションをしよう」という large task を設定した。活動の内容としては、まず、第1時に、オリエンテーションとして単元全体のあらましを理解させ、鹿児島県の観光地を紹介することへの関心を高め、large task の設定を行う。第2時では、be going to を用いた未来表現の形・意味・用法の理解と表現練習をさせた後、週末の予定について書かせ、紹介させる。第3時では、〔主語＋動詞＋間接目的語＋直接目的語（名詞）〕の形・意味・用法の理解と表現練習をさせ、教科書の内容をもとに空港での会話のスキットを作成し、発表させる。第4時では、Reading for Communication の内容を理解させた後、観光地の紹介をするために必要な表現を練習させる。その後、実際に観光地についてのメモをもとに、それぞれの観光地の紹介ナレーションを練習・発表させる。第5時では、Reading for Communication の内容理解の後、観光地の紹介を相手により良く伝えるために必要な表現を学習させるようにする。なお、これらの言語活動等を行う際には、語と語のつながり等を意識させ、middle task や large task においても、それらの言語材料等を活用できるようにさせる。第6時では、middle task 「日本の観光地紹介をしよう」を設定し、既習の言語材料等を自分なりに工夫して活用できるよ

うにさせ、その上で、日本の観光地紹介を書かせ、発表させる。第7時では、large taskとして、鹿児島観光地紹介のナレーションの原稿を書かせる。その際、生徒同士での相互評価やALTからフィードバックを行う。第8時では、それらの評価やフィードバックをもとに、原稿の校正を行い、その上で、ALTに観光地を紹介する場面を設定する。

このような指導を通して、語と語のつながり等を意識したり、言語材料等を自分なりに工夫して活用したりしながら英語で表現する力を高め、自ら考え、英語でよりよく理解・表現しようとする生徒を育成できると考える。

3 Class Survey

本学級の生徒は、授業には積極的に参加しており、授業における言語活動にも意欲的に取り組んでいる。しかし、1年生に比べ、教科書で扱われる内容や言語材料等が難しいものになるのではないかと不安を感じている生徒も少なくない。そこで、生徒の興味・関心や英語の学習における不安等を把握し、本單元における指導に役立てるため、以下のアンケートを行った。

(実施日：平成23年4月21日(木) 対象者：2年4組 40名)

1 次の英語の活動の中で一番興味があるものはどれですか。(複数回答可)	
ア 英語の映画を観ること・音楽を聴くこと	74%
イ 英語で人や物の紹介文などを書くこと	33%
ウ 教科書の本文を読むこと	33%
エ 英語で手紙を書くこと	28%
オ 英語で人や物事について発表すること	23%
カ ALTと英語で話すこと	23%
キ 先生やALTが話す英語を聞くこと	15%
ク 英語のホームページの文を読むこと	7%
2 英語の学習の中で一番不安を感じているものはどれですか。	
ア 書くこと	43%
	(理由：綴りに自信がない、文の構造がわからないなど)
イ 聞くこと	28%
	(理由：速くて聞き取れない、音がつながったり消えたりして聞き取れないなど)
ウ 話すこと	23%
	(理由：うまく伝わっているか不安、発音に自信がないなど)
エ 読むこと	5%
	(理由：文の構造がわからない)
3 次の①と②の日本語の文の内容を()の単語を用いて英語で表現してください。	
① 私は夜に英語を勉強します。(night) 正答率・・・56%	
正答例・・・I study English <u>at night</u> . 誤答例・・・on night, in the night, night	
② 私は日曜日はサッカーをします。(Sunday) 正答率・・・87%	
正答例・・・I play soccer <u>on Sundays</u> . 誤答例・・・in Sunday, at Sunday, Sunday	
4 次の日本語に合うように英文の下線部に適する英語を入れてください。	
① 私は昨日ボート(boat)で釣りをしました。	
I enjoyed fishing _____ yesterday. 正答率・・・64%	
正答例・・・on a boat 誤答例・・・by a boat, in a boat	
	(15%の生徒が①も②もinを用いた)
② 私は公園(park)で毎日走っています。	
I run _____ every day. 正答率・・・94%	
正答例・・・in the park 誤答例・・・to the park	
5 あなたは今、「映画を見る」という表現を英語で書こうとしています。しかし、あなたは「見る」という意味の言葉はlook, watch, seeの3つを学習しており、どれを使うべきか困っています。また、あなたの手元には英和辞書と和英辞書があります。そこで、あなたならどのように辞書を引いて、この表現にふさわしい「見る」を調べますか。その方法について自由に書いてください。	
・ 英和辞典でlook, watch, seeをそれぞれ調べる(38%)	
・ 和英で「見る」を調べ、一番ふさわしいものを英和で調べる(28%)	
・ 和英辞典で「見る」を調べる(24%)	
・ 和英辞典で「じっくり見る」という言葉を調べる(5%)	
・ watch TVという表現を参考にし、英和辞典でwatchを調べる(5%)	

- 6 次の日本語の内容を英語で表現しなさい。
 ・ このバスの鹿児島への到着時刻は10時です。 正答率・・・69%
 正答例・・・This bus gets to Kagoshima at ten.
 誤答例・・・This bus goes Kagoshima at ten. This bus get for Kagoshima at ten.
 This is ten in Kagoshima. It bus go to ten.
- 7 あなたが知っている世界にある有名な建造物や観光名所を教えてください。
 エッフェル塔 エアーズロック 万里の長城 真実の口 ナイアガラの滝 サグラダファミリア オペラハウス
 グランドキャニオン ピサの斜塔 コロッセオ バッキンガム宮殿 大英博物館 ピラミッド アンコールワット
 サンピエトロ寺院 凱旋門 イースター島 キラウエア火山 マチュピチュ パルテノン神殿 スフィンクス
 タイムズスクエア 自由の女神 赤壁 グレートバリアリーフ ベルサイユ宮殿 モンサンミッシェル
 ヴァッキンガム宮殿 エアカナダセンター トレビの泉 モアイ ルーブル美術館 ナスカの地上絵
 バディントン駅
- 8 あなたが世界の人に紹介したい鹿児島の建造物や観光名所を教えてください。
 西郷隆盛 薩摩切子 桜島 アミュラン 仙巖園 ドルフィンポート 天文館 温泉 霧島アートの森
 出水市 霧島連山 城山 屋久島 屋久杉 鶴丸城 九州新幹線 附属中学校 吹上浜 錦江湾
 甲突川沿いの桜並木 奄美の島々 尚古集成館
- 9 8で答えた場所の具体的にどのような所を紹介したいと思いますか。
 桜島・・・季節ごとの風景の違い 噴火 大きさ 周りの環境 農産物
 奄美・・・海のきれいさ 魚 珊瑚
 仙巖園・・・広さ 美しさ 歴史 関わった人々
 甲突川沿いの桜並木・・・本数 美しさ 売店
 屋久島・・・屋久杉 世界自然遺産
 尚古集成館・・・歴史
 吹上浜・・・砂の祭典 ウミガメ 三大砂丘の一つ
 附属中・・・文武両道
 城山・・・展望台からの眺め
 霧島連山・・・山の高さ 周りの風景

以上の結果から、まず、生徒は「読むこと」より「聞くこと」への関心がより高いことが分かる。「聞くこと」への関心が高い理由としては、映画や音楽、コマーシャルなど、英語の音声による情報が生徒の身近に多くあり、それらを理解したいという気持ちを日頃から感じていることが考えられる。一方で、生徒の「聞くこと」に対する不安は「読むこと」よりも大きい。その理由としては、読むことに比べ、聞き取れない部分を繰り返し聞き返すことが難しかったり、連結や脱落等といった音変化を聞き分けるのが難しかったりすることが考えられる。このような不安に配慮した授業を展開することで、「英語を聞いて理解したい」という生徒のモチベーションを維持できるようにする必要がある。

次に、生徒が最も不安を感じているのは「書くこと」であるが、その理由としては、「話すこと」に比べ、より正確性が求められ、そのことに不安を感じている生徒が多いことが考えられる。特に、英語と日本語の文構造の違いを難しいと感じる生徒が多くいるため、1年生の middle task 等では、主語に着目しながら英語で表現する活動を行い、生徒に工夫して表現することを促してきた。その成果として、「このバスの鹿児島への到着時刻」という主語を「このバス」に変えて表現している生徒が多く見られた。これらの工夫をさらに定着させるような言語活動を本課においても工夫したい。

また、文構造と同じく生徒の不安を高めているのが、前置詞や似た意味をもつ語の存在である。例えば、日本語では同じ「～で」という表現であるため、「公園で」の“in the park”と同じように「ボートで」を“in a boat”と表現してしまう生徒がいる。1語1語の意味だけでなく、語と語のつながりを意識しながら語彙を習得できるようにすることで、生徒が言語活動等の中で活用しやすくなるよう工夫する必要がある。また、例えば「映画を観る」の「観る」を辞書で調べる場合、「観る」にばかり注目して辞書を用いようとする生徒が大半であるため、「映画」という言葉から、語と語のつながりを調べる方法等についても指導し、生徒が自ら辞書を用いながら表現できるような指導も行いたい。

4 Lesson Plan

(1) タスク 「鹿児島県の観光地紹介のナレーションをしよう」

(2) 言語の使用場面と言語の動き

言語の使用場面	言語の働き	表現形式
<ul style="list-style-type: none"> 友人との対話 入国審査 観光地で 	<ul style="list-style-type: none"> 〈質問する〉 〈答える〉 〈依頼する〉 〈質問する〉 〈答える〉 〈質問する〉 〈答える〉 〈描写する〉 〈説明する〉 	<p>Do you have any plans for the “Golden Week” holidays? I’m going to visit Lake Towada by plane.</p> <p>Show me your pasport, please.</p> <p>What’s the purpose of your visit? Sightseeing.</p> <p>How long are you going to saty? For three days.</p> <p>It’s so big.</p> <p>It’s about eight metes tall abd weighs 70 tons. People call it a moai. It has about 1,000 moais. These moais are standing on the beach. Later people made many moais in the mountain. But now we can see some of them on the beach.</p>

(3) Allotment(4/8) は本時

	Tasks ----- 主な学習内容	言語材料等の 活用場面	活用場面における4技能の統合			
			L	S	R	W
第1時	small task 単元のあらましを理解しよう <ul style="list-style-type: none"> ・ オリエンテーションを通した Unit2 のスキーマ形成 ・ large task の設定 ・ 鹿児島県の観光地を紹介するために必要な情報等の収集 	鹿児島県の観光地について教師とインタラクションを図る場面	◎	←	○	
第2時	small task 週末の予定について話そう <ul style="list-style-type: none"> ・ Starting out の内容理解と音読練習, be going to を用いた未来表現の形, 意味, 用法の理解と表現練習 ・ 週末の予定を紹介する文の作成と発表 	週末の予定についての原稿を作成し発表する場面		○	←	◎
第3時	small task 空港でのスキットを作ろう <ul style="list-style-type: none"> ・ dialog の内容理解と音読練習, 主語+動詞+間接目的語+直接目的語(名詞)の形, 意味, 用法の理解と表現練習 ・ 空港でのスキットの作成と発表 	空港でのスキットを作成し, ペアで発表する場面	◎	←	○	
第4時 (本時)	small task 観光地紹介のナレーションをしよう <ul style="list-style-type: none"> ・ Reading for Communication の内容理解と音読練習, 主語+動詞+目的語+補語(名詞)や観光地紹介に必要な表現の形, 意味, 用法の理解と表現練習 ・ メモをもとにしたナレーションの練習と発表 	メモをもとに観光地の紹介ナレーションを発表する場面	○	←	◎	
第5時	small task 観光地の歴史について書こう <ul style="list-style-type: none"> ・ Reading for Communication の内容理解と音読練習 ・ 時を表す副詞・副詞節を含む文の形, 意味, 用法の理解と表現練習 ・ メモをもとにした歴史の紹介文の作成と発表 	世界の観光地の歴史について紹介文を作り, 友人に紹介する場面		○	→	◎
第6時	middle task 日本の観光地の紹介をしよう <ul style="list-style-type: none"> ・ メモをもとにした日本の観光地の紹介をする原稿の作成と校正, 発表準備, 練習, 発表 	日本の観光地の紹介文を作り, 友人と発表しあう場面	○	←	◎	
第7時	large task 鹿児島県の観光地紹介のナレーションをしよう <ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿児島県の観光地の紹介文の作成と発表準備 ・ 相互評価, 自己評価とフィードバック 	鹿児島県の観光地紹介のナレーション原稿を書く場面		○	→	◎
第8時	large task 鹿児島県の観光地紹介のナレーションをしよう <ul style="list-style-type: none"> ・ ナレーション原稿の推敲 ・ 鹿児島県の観光地の紹介ナレーションの練習, 発表 	鹿児島県の観光地紹介のナレーションを発表する場面	◎	←	○	

(4) 評価規準表

〔タスク〕： 鹿児島島の観光地紹介のナレーションをしよう。

〔目標行動〕： 既習の言語材料等を活用し、映像に合わせて鹿児島島の観光地を紹介するナレーションをすることができる。

評価計画	観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
評価場面(評価方法)		・ 評価規準	・ 評価規準 ○指導の手だて	・ 評価規準 ○指導の手だて	・ 評価規準
第1時 スキーマ形成に向けて、教師とインタラクションを図る場面 (観察、インタラクションによる英問英答)	(言語活動への取組) ・ 教師の質問等について、簡単な言葉や動作などで反応している。			(適切な聞き取り) ・ 教師の質問を聞いて、簡単な言葉や動作などで適切に応じることができる。 ○ 相手に聞き返すなどの工夫をしながら聞き取らせる。	(言語についての知識) ・ 教師の質問に答えるための語句や表現、文法を知っている。
第2時 週末の予定について発表するための原稿を作成し、実際に発表する場面 (観察、自己評価・相互評価)	(言語活動への取組) ・ 聞き手が理解しやすくなるように、話すスピードや声量を工夫して話している。	(正確な筆記) ・ 語句や表現、文法などの知識を活用して、正しく書くことができる。 ○ 教科書の表現をもとに、表現等を確認させた上で書かせる。			(言語についての知識) ・ be going to を用いた未来表現など、原稿を書くために必要な語句や表現、文法などを知っている。
第3時 空港でのスキットを作成し、ペアで発表する場面 (観察、自己評価・相互評価)	(言語活動への取組) ・ 聞き手が理解しやすくなるように強調したり繰り返したりするなどの工夫をしながら話している。	(適切な発話) ・ 聞き手を意識して、強調したり繰り返したりして話すことができる。 ○ 生徒と教師によるモデル対話を聞かせた上で取り組ませる。			(言語についての知識) ・ 主語+動詞+間接目的語+直接目的語(名詞)など、スキットに必要な語句や表現、文法などを知っている。
第4時 メモを見ながら、世界の観光地を紹介する場面 (観察、発表原稿の内容)	(言語活動への取組) ・ 間違えることを恐れず、積極的に話している。	(適切な発話) ・ 場面や状況にふさわしい表現を用いて、世界の観光地を紹介することができる。 ○ 教科書の表現を活用しながら紹介させる。			(言語についての理解) ・ 主語+動詞+目的語+補語(名詞)など、観光地を紹介するために必要な語句や表現、文法などを知っている。
第5時 観光地の歴史について発表するための原稿を書き、発表する場面 (観察、発表原稿の内容)	(コミュニケーションの継続) ・ 表現できないところがあっても、知っている語句や表現を用いるなどの工夫をして書いている。	(適切な筆記) ・ 観光地に関する情報が相手に正しく伝わるように、書くことができる。 ○ うまく表現できた生徒の例を基に、表現方法を確認して書かせる。			(言語についての知識) ・ 観光地の歴史を紹介するために必要な語句や表現、文法などを知っている。
第6時 日本の観光地紹介の原稿を書き、発表し合う場面 (観察、発表原稿の内容)	(コミュニケーションの継続) ・ 表現できないところがあっても、知っている語句や表現を用いるなどの工夫をして書いている。	(正確な筆記) ・ 語句や表現、文法などの知識を活用し、発表原稿を正しく書くことができる。 ○ 互いの発表を評価し、発表原稿を校正させる。			(言語についての知識) ・ 日本の観光地を紹介するために必要な語句や表現、文法などを知っている。
第7時 鹿児島島の観光地のナレーション原稿を作り、発表の準備をする場面 (観察、自己評価・相互評価)	(コミュニケーションの継続) ・ 間違えることを恐れず、積極的にナレーション原稿を書いている。	(適切な筆記) ・ 観光する人を意識した表現を用いてナレーション原稿を書くことができる。 ○ 既習の「誘う」表現等を想起させた上で書かせる。			(言語についての知識) ・ ナレーション原稿を書くために必要な語句や表現、文法などを知っている。
第8時 作成した観光地のナレーション原稿をもとに、発表する場面 (観察、自己評価・相互評価)	(言語活動への取組) ・ 聞き手が理解しやすくなるように、強調したり繰り返したりしながら話している。	(適切な発話) ・ 適切な声量や明瞭さで話すことができる。 ○ 相互評価の項目を確認し、声量や明瞭さに気を付けて話させる。			(言語についての知識) ・ 基本的な強勢やイントネーションなどの違いを理解している。
単元テストや定期テストを用いた理解度の確認		(適切な発話・筆記) ・ 場面に応じた表現を用いて、書いたり話したりすることができる。 (正確な発話・筆記) ・ 語句や表現、文法などの知識を活用し、正しく書いたり話したりすることができる。	(適切な聞き取り・読み取り) ・ まとまりのある英文の内容の、概要や要点を適切に聞き取ったり読み取ったりすることができる。 (正確な聞き取り・読み取り) ・ 語句や表現、文法などの知識を活用して、短い英語の内容を正しく聞き取ったり読み取ったりすることができる。	(言語についての知識) ・ be going to を用いた未来表現の文の形、意味、用法を理解している。 ・ 主語+動詞+間接目的語+直接目的語の文の形、意味、用法を理解している。 ・ 主語+動詞+目的語+補語の文の形、意味、用法を理解している。	

5 Aims of This Period

(1) 本時のタスク

「観光地紹介のナレーションをしよう」

(2) 指導の重点

「話すこと」「聞くこと」

(3) 本時の目標行動

教師とのやりとりから、新出の表現に気付き、パターンプラクティスを通して理解する。次に、自分にあった難易度の音声教材を選択し、教科書の本文を繰り返し聞きながら、その内容を理解した上で、音読練習をする。その後、観光地についてのメモをもとに、映像に合わせて観光地紹介のナレーションをすることができる。

(4) 本時の指導目標

ア 間違いを恐れずに英語で観光地を紹介しようとする積極的な態度をはぐくむ。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

イ メモをもとに、新出および既習の語句や表現、文法事項などの知識を活用して、適切な声量や明瞭さで、観光地紹介のナレーションをすることができるようにさせる。【外国語表現の能力】

ウ モアイに関するまとまりのある英語を聞き、イントネーションや区切りなどの特徴をとらえ、その概要や要点を適切に聞きとらせる。【外国語理解の能力】

エ 観光地の紹介を作成する上で必要な表現や文構造について理解させる。その際、それらの新出表現等を語と語のつながり等を意識したり、既習事項と関連づけたりしながら理解させる。

【言語や文化についての知識・理解】

(5) 授業設計上の工夫

ア 語と語の結びつきを意識した言語活動の工夫

フラッシュカードで新出の語彙を提示する際に、コロケーションを意識した形も提示することで、語と語のつながり等を意識できるようにする。また、そのことにより、複数の表現間における共通点に気づき、それらをよりまとまりをもって整理して理解できるようにする。また、言語活動の中でも、語と語のつながり等を意識しながら活用できるように工夫し、より活用しやすい形で言語材料等の習得を深められるようにしたい。

これらのことにより、生徒は語と語のつながり等を意識しながら語彙を習得し、また、それらを活用してよりよく表現できるようになると考える。

イ 次の学びに生かすための評価とフィードバックの工夫

生徒はこれまで、middle task への取組を通して、言語材料等を自分なりに工夫して活用してきた。その成果として、メモなどをもとに人や物の紹介文を書く活動の中で、自ら工夫して表現しようとする生徒が増えつつあることがわかった。そこで、本授業における「話すこと」を中心とした言語活動においても、このような工夫をすることで表現できるような教材を用いる。その上で、「話すこと」の中でも同じように工夫することができるかを評価するとともに、生徒に

もフィードバックを与え、今後の活動に生かせるようにする。これにより、生徒は一つの学びを次の学びに生かすことができるようになると思う。

(6) 本時の実際 (4/8)

区分	教授=学習過程	時間	生徒の活動	指導上の留意点 ◆評価 □補説 (研究との関連)
導入	Start Greetings 1 Review 2 Oral Interaction 3	10'	1 英語で挨拶する。 2 教師との問答や簡単な対話を通し、前時までの復習をする。 3 観光地を紹介する教師の英語を聞き、その内容に関して問答をする。	<ul style="list-style-type: none"> 英語学習の雰囲気を作る。 絵やキーワードを提示し、対話の内容を視覚的にとらえられるようにする。 写真等を用いて視覚的に導入することで、内容をとらえやすくするようにする。
	Grasping Task 4 New Expressions 5 Oral Interaction 6 Listening 7 Check of Understanding 8 Reading Aloud 9 Activity 10 Presentation 11		35'	4 本時のタスクを把握する。 観光地紹介のナレーションをしよう 5 新出の文型や表現を理解し、練習する。 6 教科書の概要を把握する。 7 教科書のCDの内容を聴きとる。 8 教科書の内容に関する教師の質問に答える。 9 教科書を音読する。 10 メモをもとにして、観光地紹介のナレーションを作り、ペアで練習する。 11 全体でナレーションの発表をする。
終末	Evaluation 12 Assignment 13 End	5'		12 単元を通し書き進めているナレーション原稿に新しい文を書き加え、本時の学習内容を振り返る。 13 今後の活動の見通しをもつ。